

毎日、コップ一杯の牛乳を、 飲んでください。

長崎県大村市の酪農家、松谷圭一郎さんと妻・茜さんの一日は午前5時半から始まります。

牛舎の掃除、牛へ牧草を与え、寝床の掃除。

午前7時半に一度目の搾乳が終わった後は

牧草を与え→寝床づくり→夕方の飼料作りという

ルーティンを繰り返し、午後6時に2度目の搾乳。

その後、牛がゆったりとくつろいでいるかを観察し、

午後8時半過ぎに一日の作業が終わります。

松谷さんは1年半前から牧場にAIを導入。一頭一頭にセンサーをつけて

クラウドデータを取得し24時間健康状態をチェックしています。

酪農家としての経験とデータ分析の二刀流で

牛のコンディションを一定に保つ努力を重ねています。

長引くコロナ禍による牛乳消費の慢性的な落ち込み。

また、最近の円安や国際情勢による飼料の不足や値上がりも深刻な問題です。

「厳しい状況ですが、乳質を落としたいくない」と松谷さん。

地元九州の新鮮でおいしい牛乳を一日コップ一杯、飲んでほしい。

酪農家たちは思いを込めて、365日、早朝から搾り続けています。

松谷さんに質問してみました。

「消費者の方に、何かお伝えしたいことはありますか？」

松谷さんは、にっこり笑ってこう答えました。

「『おいしい』という一言が聞ければ、苦労は吹っ飛びます」

大変な状況の中、酪農家たちの思いはそれぞれ。でも、願いは同じです。

ミルキープ
MILKEEP!

牛乳を、まもろう。

生乳品質共励会 2部最優秀賞 長崎県大村市 松谷牧場

